

じもとホールディングス 中期経営計画

計画期間 2021年4月～2024年3月

- コロナ禍への対応を重要課題とし、グループの強みである「本業支援」をさらに深化させ、お取引先に貢献します。
- 次の5年、10年後を見据え、SBIグループ連携を積極活用し、業務変革のスピードアップ、経営管理の高度化を図ります。

- これらの取り組みを通じ、取引先業況の改善、グループ収益改善へつなげる「共通価値の創造」の実現を目指します。

経営理念

宮城と山形をつなぎ 本業支援を通じて 地元中小企業や地域に貢献

コロナ禍 変革待ったなし

5年、10年後の想定社会が一気に到来

行動パターン急変(非対面、非接触、分散)

中期経営計画方針

「コロナ禍へ対応」 ・ 「グループの強みに特化」 ・ 「じもとHD、次の5年・10年へ」

本業支援の深化

コロナ禍、いまこそ
「本業支援」

経営改善・事業再生

資金繰り支援

仙台地区戦略

業務変革(DX)

新たな業務プロセス
効率化、サービス拡充

店舗戦略見直し・人員戦略

業務プロセス見直し

コスト削減

経営管理

ガバナンス態勢の実効性向上
子銀行管理・グループ監査

資本政策

SDGs・ESG

新しい働き方・人材育成

SBIグループ連携の積極活用

FinTech技術・外部知見・人材派遣 / レベルアップ・スピードアップ

目指す姿 (共通価値の創造)

取引先の業況改善・地域発展

当グループ収益改善

じもとホールディングス業績

コア業務純益

増益 ▶ 前年同期比 869百万円増

有価証券運用を再構築

手数料収入増加

親会社株主に帰属する

中間純利益

増益 ▶ 前年同期比 1,540百万円増

与信関係費用減少

コアOHR

改善 ▶ 前年同期比 5.5ポイント改善

経費削減効果

じもとホールディングス(連結)
収益実績及び経営指標

(単位:百万円、%)

	2021年			2020年
	9月期	前年同期比	増減率	9月期
コア業務純益 ^{※1}	2,867	869	43.5	1,997
親会社株主に帰属する中間純利益	1,604	1,540	—	64
コアOHR ^{※2}	80.0	△5.5	—	85.5
顧客向けサービス業務利益(2行合算) ^{※3}	698	274	64.6	424

※1、※2 投信解約益等(投信解約益+債権売却益)を除く

※3 顧客向けサービス業務利益
=貸出金残高×預貸金利回差+役務取引等利益-営業経費